第 51 回　自然観察会（タンナカ高原）実施報告

自然保護委員長　栗木洋明

令和２年１０月２５日（日曜日）第５１回の自然観察会を、岐阜県飛騨市の「タンナカ高原」で実施。昨年度の計画が雨で流れていたため、今回の自然観察会は念願がかなっての実施となった。集合場所である数河高原に、３団体２８名の参加者が予定時間より早く集合できたため、早めに開会式を実施。その後すぐにスタート地点のタンナカ高原に車で移動。スタート地点に到着してみると、あたり一面にはすばらしい紅葉のブナ林が広がっており、車から降りるや否や、参加者の皆さんから感嘆の声が漏れ聞かれ、計画者としては天候に左右された昨年度のこともあり、ほっと胸をなでおろすことができた。

記念撮影をした後、さっそくスタート。講師の小野木先生の説明も絶好調で、参加者は辺りを見回しながら感動に浸るばかりであった。単調な尾根道を想像していたが、予想以上にアップダウンのある道ではあったが、説明を聞きながらの前進なので苦にはならなかった。今回のコースは直線距離で２キロほどであるが、アップダウンのある曲がりくねった山道を２時間４５分をかけて進行。小川のせせらぎを聞きながら予定通りの場所で昼食。毎年、バーベキュウ―などのお楽しみを準備していたが、今回はコロナの関係もあり特別なイベントは無し。しかし、それにも勝る紅葉の素晴らしいブナ林での会食ができ、十分満足のいく自然観察会を実施することができてよかった。